

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212Q401	成人看護学実習 (Clinical Practice in Adult Nursing)	専門教育科目 成人看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	担当教員
必修	6	4	前	末弘 理恵・脇 幸子・大野 夏稀・佐藤 昂太郎・井上 亮 内線 5053 e-mail : suehiror@

【授業の概要・到達目標】

地域で生活している成人期にある対象を、ライフサイクルや発達の中で多様な価値観・生活背景を持ち、QOLの向上を目指しセルフケアをしている全人的な存在として捉え、さまざまな健康レベルに応じた看護実践の基礎的能力を養い、さまざまな保健・医療・福祉の場とチーム体制の中で、看護専門職としての在り方を探求し続ける能力を養うことをねらいとする。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 疾患、障害及びその治療が及ぼす対象の健康レベルや生活への影響について、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの側面より捉えることができる。	○						
2. 成人期にある対象の健康についてのアセスメントに基づき、セルフケア促進に向けて系統的な看護を提供することができる。			○				
3. 成人期の対象のセルフケア能力の向上や、健康の保持・増進・回復や一次・二次・三次予防に向けたヘルスケアシステムを理解し、そのヘルスケアシステムの中での看護活動の在り方について考察を深めることができる。		○					
4. 看護専門職として、根拠に基づいて、倫理的かつ主体的に看護実践をし、自己の看護を振り返り、看護観を深めることができる。							○

【授業の内容】

	急性期実習	慢性期・終末期実習
実習期間	3週間	3週間
実習場所	大分大学医学部附属病院 外科系病棟、手術部、集中治療部、 高度救命救急センター	大分大学医学部附属病院 内科系病棟、外来診療科、各種医療チーム 大分ゆふみ病院
実習方法	受け持ち患者を通しての看護実践、見学実習	
実習記録	成人看護学所定の看護記録	

【アクティブラーニング (D:知識の活用・創造) において学生がより深く学ぶための工夫】

・看護専門職としての意志ある学びを叶えるために、ポートフォリオ評価を活用する。また、主体的学習者としてのコンピテンシーを高められるように、実習での日々のリフレクションを積み重ね、学生同士、学生と教員間の対話を大切にする。

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	実習開始まで、自分自身の学習課題を明確にし、成人看護学の授業資料や教科書等を用い知識・技術の復習を行い、実習前オリエンテーションにて主体的学習活動への心構えを学ぶ (30h)。
事後学修	日々の実習のリフレクションを行い、翌日の看護実践に向けて、看護計画の立案および知識・技術の学習を行う (45h)。必要時これまで学習した成人看護学科目及び関連科目の復習をする (30h)。

【教科書】

成人看護学で使用したテキストなど、必要に応じて適宜紹介する。

【参考書】

実習中、適宜紹介する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
実習評価表に基づいて、自己評価・評価面接を行い、総合的に評価	100%	○	○	○	○

【注意事項】 詳細は看護学実習要項(成人看護学実習)および看護学実習要項《共通編》に準じる。

【備考】 実習記録はMoodle からダウンロードする。

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験		末弘理恵（看護師）、脇幸子（看護師）、大野夏稀（看護師）、佐藤昂太郎（看護師）、井上亮（医師）
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者		附属病院及びホスピスの実習指導者（看護師）
実務経験をいかした教育内容		附属病院等及びホスピスにおいて、急性期および慢性期・終末期にある対象の看護の実習を行う
授業形態		臨地実習